



はしかみ

No.43

11月号 (November)

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



～階上町町制施行40周年記念式典～

10月17日、階上町町制施行40周年記念式典が開催され、各小学校の代表児童6人が町民憲章の唱和を行いました。



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 9月定例会

04 ここが聞きたい

09 質疑あれこれ

10 学校視察

一般会計決算
町税収納率7年連続上昇

4議員が一般質問

元年度決算の認定等

町内8小中学校訪問

第4回 9月定例会

令和2年第4回定例会を9月8日開会し、9月11日閉会しました。
今回の議会では、認定1件、報告2件、条例の一部改正1件、補正予算4件、その他2件、計10件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で認定、可決しました。一般質問は、4人の議員が行いました。

一般会計決算

3億3743万円の黒字！

歳入59億155万円 歳出55億3509万円

▽元年度一般会計決算

歳入（収入）は、59億155万円、歳出（支出）は、55億3509万円。
実質収支額は、3億3743万円です。このうち、2億円を基金に積み立てました。

歳入では、地方交付税が38・3%で最も高く、町税19・8%、国庫支出金11・8%の順となっています。

自主財源は、31・1%で、町税の収納額が前年度より増額となり、収納率が7年連続で上昇しました。依存財源は、68・9%で、前年度より県支出金等が増額となり、地方交付税、地方消費税交付金等が減額となりました。

目的別歳出では、民生費が30・0%で最も高く、自立支援事業費、子どものための教育・保育給付費等が主なものとなっています。

2番目は、総務費の18・4%でコミュニティバス・スクールバス運行委託料等が主なものです。

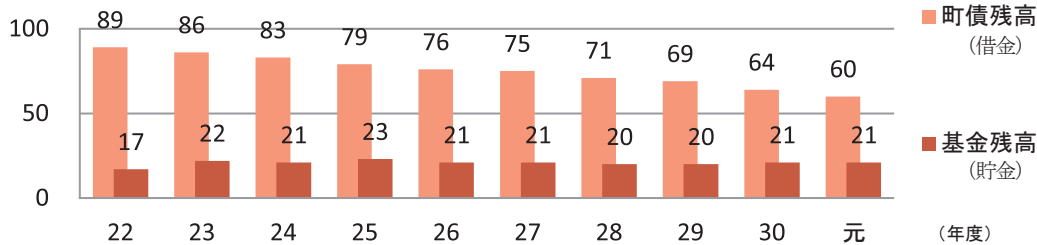
次いで、公債費の14・2%の順となっています。

性質別歳出では、義務的経費（人件費、扶助費・公債費）が、48・3%、投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費等）が7・6%、その他の経費（物件費、維持補修費、補助費等、繰入金、積立金等）が44・1%となりました。

財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は、94・8%で、前年度比2・3ポイントの増となり、依然として財政が硬直化している状況となっています。

町債現在高は、新規発行債の抑制により59億5122万円となり、前年度より4億7084万円の減となりました。

町債・基金残高の推移（一般会計）



「暮らし・人・地域を豊かに」

～令和元年度決算の主な事業～

【総務費】コミュニティバス・スクールバス運行委託料3838万円、庁舎内機器及びネットワーク管理費3657万円、移住・定住新築住宅支援事業費補助金3077万円など。

【民生費】自立支援事業費3億146万円、子どものための教育・保育給付費4億8488万円、児童手当費1億7351万円など。

【衛生費】予防接種委託料2941万円、住民検診委託料2701万円、ごみ収集及び処理委託料2655万円など。

【農林水産業費】階上地区水産物供給基盤機能保全事業4999万円、はしかみハマの駅あるでいしば指定管理委託料3千万円、農業次世代人材投資資金975万円など。

【商工費】三陸復興国立公園維持管理委託料756万円、観光PR事業費364万円、ふるさとにぎわい広場エアコン入替工事357万円など。

【土木費】除雪作業委託料7384万円、道路改良等工事6563万円、耳ヶ吠・追越線外舗装補修工事6455万円、道路維持工事6435万円など。

【消防費】小型動力ポンプ253万円、消火栓新設工事負担金39万円など。

【教育費】階上中学校グラウンド照明改修工事2980万円、特別支援教育振興費1946万円、奨学資金1370万円、スクールバス運行委託料855万円など。

国保税 6年連続収納率アップ

特別会計決算
法定外繰入4年連続0円



▽元年度国民健康保険特別会計決算
歳入は、16億75万円、歳出は、15億2977万円、7098万円の黒字。そのうち3600万円を国保会計財政調整基金へ繰入れ。

歳入は、県支出金10億6158万円、国民健康保険税3億4531万円、繰入金1億3304万円など。

▽元年度介護保険特別会計決算
歳入は、13億3956万円、歳出は、13億2321万円、1636万円の黒字。そのうち1525万円を介護保険給付費準備基金へ繰入れ。

歳入は、保険給付費10億857万円、国民健康保険事業費納付金4億7110万円など。

▽元年度漁業集落排水事業特別会計決算
歳入は、4438万円、歳出は、4324万円、114万円の黒字。

歳入は、1億2304万円、歳出は、1億1990万円、314万円の黒字。

▽元年度公共下水道事業特別会計決算
歳入は、3億2334万円、歳出は、3億2040万円、294万円の黒字。

歳入は、繰入金1億229万円、町債8500万円、国庫支出金6500万円など。

▽元年度後期高齢者医療特別会計決算
歳入は、保険料7570万円、繰入金4667万円など。

歳入は、後期高齢者医療広域連合納付金1億880万円など。

区分	元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 ※1	-	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率 ※2	-	20.00%	30.00%
実質公債費比率 ※3	11.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率 ※4	43.0%	350.0%	-
資金不足比率 ※5	-	経営健全化基準	20.00%

※1 一般会計の赤字の割合で、黒字のため比率はありません。
 ※2 全ての会計の赤字の割合で、黒字のため比率はありません。
 ※3 その年の使い道が自由な収入に対する債務返済額の割合。
 ※4 実質的な債務をその年の使い道が自由な収入と比べた時の率。
 ※5 漁業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計の資金不足額の比率で、黒字のため比率はありません。

▽元年度健全化判断比率・資金不足比率

財源の安定確保と 効率的な行財政運営を

代表監査委員 三上孝八
監査委員 小松雅彦

▽一般・特別会計
元年度一般会計・各特別会計の予算の執行および事務処理は適法かつ適正な決算であると認める。

歳入の柱である町税収入は、固定資産税、軽自動車税及び町たばこ税の調定額、収入額が増となり、関係職員が日々努力し、自主財源確保に努めていると強く感じた。

安定的な財源の確保及び税負担の公平性の上からも、収納率向上に向けた取り組みを引き続き願います。

少子高齢化の進行や公共施設の老朽化問題、現況においては新型コロナウイルス感染症がもたらす影響など、多くの課題が山積していることから、財政環境は厳しい状況にある。

これらの課題に的確に対応するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に進めるなど、引き続き計画的、効率的な行財政運営に努め、協働のまちづくりの精神を十分に発揮しながら、諸施策を展開すべきである。

▽財政健全化指標
昨年と同様に財政の健全化が保たれている。今後この状態を維持すること。

林道機能強化工事に係る経費に1126万円

一般会計補正予算

1億8066万円を増額補正

▽2年度一般会計補正予算(第3号)

1億8066万円を増額補正し、予算総額を77億3096万円としました。

歳入は、繰越金1億2743万円等を増額しました。

歳出は、総務費1832万円等を増額しました。

▽2年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

3522万円を増額補正し、予算総額を15億6826万円としました。

歳入は、繰越金3498万円等を増額しました。歳出は、予備費2999万円等を増額しました。

▽2年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

2047万円を増額補正し、予算総額を13億7706万円としました。

歳入は、繰入金1679万円等を増額しました。歳出は、諸支出金1790万円等を増額しました。

▽2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

314万円を増額補正し、予算総額を1億6180万円としました。

歳入は、繰越金314万円を増額しました。歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金293万円等を増額しました。

条例の一部改正

▽階上町手数料徴収条例の一部改正

住民基本台帳関係及び番号制度関係の手数料について、所要の改正をするため一部改正するもの。

その他

▽階上町庁舎空調設備改修工事請負契約の締結について

町庁舎空調設備改修工事請負契約を締結するため。

▽物品の買入れについて

教育用タブレット端末を取得するため。

請願

▽日米地位協定の抜本的見直しを求める請願

請願者 青森県平和委員会(総務財政常任委員会の審議結果は不採択)。

討論

討論の内容については次のとおり。

採択に賛成

寅谷 正 議員

外交問題に矮小化するべきでなく、国民の暮らしと命を守る問題だと思っております。

採択に反対

上道 一三男 議員

外交問題であり、権限のない請願を採択することは議会の責任ある態度と言えないことから反対する。

審議結果

採決の結果、賛成少数で不採択とすることに決定した。

▽加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択の請願

請願者 全日本年金者組合青森県本部(教育民生常任委員会に付託。採択)。

意見書

▽新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

地域の実情に応じた行政サービスの安定的かつ持続的に提供していくために、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実するよう要望します。

提出先 国

▽加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書

加齢性難聴の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するよう要望します。

提出先 国

一般質問

ここが聞きたい

第4回定例会では4議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 下沢 育男 議員 5ページ

1 新型コロナウイルス対策事業について

■ 大江 和夫 議員 6ページ

1 ハマの駅の指定管理について
2 4期目半ばまでの町長の実績について

■ 寅谷 正 議員 7ページ

1 新型コロナウイルス感染症関連について
2 町内小中学校のトイレの洋式化について
3 国民健康保険税における賦課方式の変更について
4 区長の身分について

■ 森 榮吉 議員 8ページ

1 ハマの活性化対策について
2 町内2中学校の再編問題について

新型コロナウイルス対策事業について

〔町長〕 動向を注視し続ける必要がある

○災害時の感染症対策について

問① 避難所では、「3密」が懸念

されるほか、間仕切りの設置、収容人数減少の対応、避難者の体温測定、それら対応のための備品の整備など今後の台風の襲来も考慮すると、早急な対応が必要と考える。

① 感染症対策のための災害備蓄品の想定と、その確保数と整備予定について。

② 感染症対策を踏まえた避難所の運営方法について。

③ 避難時における持参すべき非常時持ち出し品など、感染症対策を想定した町民への周知について伺う。



下 沢 育 男 議員

答① 町長

① 「予防、健康管理物資」として、マスク19800枚、段ボールベット25組、非接触式体温計10本、非接触式体温検知器タブレット4台など、また「消毒物資」として、アルコール消毒液40リットル、ウェットティッシュ120個など、さらにスタッフ用防護服15着、フェイスシールド100個を現在備蓄している。今後、必要となる物資については、順次その確保に努めてまいりたい。

② 新たな感染者の発生に備えて、避難者及び運営スタッフの健康管理や施設の衛生管理を徹底する「町の避難所運営マニュアル」の策定作業を行い、町が開設するそれぞれの避難所に合わせながら、感染症対策に万全を期することとしている。

③ 非常持ち出し品は、全戸配布した青森県防災ハンドブック「あおもりおももり手帳」において町民の皆様が周知しており、「感染症対策を想定した防災に対する備え」としての特集を組んで、広報紙やホームページに掲載し、町民への周知に努める。

問② 避難所での感染リスク防止策

として3密の回避を徹底することは重要である。その中において、避難所駐車場での宿泊、または親戚、知人宅への避難等も感染防止策として効果的な方法と考えるが、町の考えを伺う。

答② 総務課長

車中泊においては、熱中症対策やエコノミークラス症候群対策をし健康管理に気を付けること、親戚や知人宅への避難については災害が起こる前連絡を取り合うなどの準備は感染症防止策として有効な手段の一つと考える。

問③ コロナ禍が続く状況での災害を想定した避難所開設訓練を行う予定はあるか伺う。

答③ 総務課長

9月27日に中央体育館で町の総合防災訓練と併せて避難所開設訓練を予定。

○町内事業者の現状について

問① 新型コロナウイルスの影響による消費の減少や休業問題などで廃業の問題も取り上げられているが、当町の事業者についてはどのような状況になっているのか、町として把握する範囲で伺う。

答① 町長

町独自の支援策として「町内事業者支援金」の給付を実施し、434件の事業者に対して給付が完了しており、国や県が実施主体である「経営安定化」及び「事業継続化」を図るための融資についても、町内事業者32件で有効に活用されてお

り、新型コロナウイルスの影響で廃業した事業者はないと理解しているが、依然として終息が見えないコロナ禍の現状を踏まえて、町内経済の動向を注視し続ける必要がある。

○町独自の追加支援策事業の進捗状況等について

問① コロナ感染対策、町独自の

「追加」支援策事業（GIGAスクール構想事業・小中学校エアコン設置事業・小中学校自動車水栓化事業・体温検知システム設置事業・避難所整備事業）の内容と進捗状況等を伺う。

答① 町長

GIGAスクール構想は、全児童生徒と教員用の教育用タブレット端末900台と校内高速通信ネットワーク整備の導入で、今年度末納入予定。小中学校エアコン設置事業は、4小学校2中学校に69台設置するもので、今年度末設置完了予定。小中学校自動車水栓化事業は、町内小中学校のトイレなどの手洗い場

143個の蛇口を自動水栓化するもので、12月21日完了予定。体温検知システム設置事業は、非接触式体温検知タブレットを15台購入し、小中学校・役場庁舎など8月7日より設置稼働中。避難所設置事業は、年内を納期限として、避難所用パーテーション101基の整備中。

問② GIGAスクール構想事業

で購入する端末機で、休校中に自宅にてオンライン授業ができるのか、その計画等を伺う。

答② 教育課長

現時点では、端末機のセキュリティ・各家庭の通信ネットワーク環境が整っていないため、令和3年度実施は想定していない。今後は、学校での端末機の運用が確立され、使う側のスキルが高まった段階で活用していく。

※GIGAとは
Global and Innovation Gateway for Allの略。

ハマの駅の指定管理について

〔町長〕総合評価でB判定の「ラボ」に再指定したい

問① ハマの駅開館から総入館者数は60万人を超えたと聞いている。指定管理者である「はしかみふるさとラボ」の決算報告があり、利益は153万円ほどとなっている。指定管理料3千万円が入ったの額であり、利益が少ないかと思われる。来年度以降引き続き「はしかみふるさとラボ」と契約したい旨の答弁があった。当初は別の団体との認識をしていたが変わられた経緯と管理料の額と将来の方針及び対応策など、収益を上げるための企画、構想があるか今後の対応を含めてお伺いしたい。

答① 町長

指定管理について別の団体という話であるが、初めから決まっていたのではないかと変わってはいない。これは水産庁の事業目的を満たす団体という条件があり、対象が限られている。漁協組合長からは、最初から「漁協では無理です。」と断られており現在もその考えは変わっていないと伺っている。再指定する理由については、「はしかみふるさとラボ」は2年間の実績をもとに総合評価でB判定を受け、運営管理団体として実績を認められた。将来の階上の水産業振興に熱意を持っている団体に委託したいと考えている。



大江和夫 議員

また売り上げから充当する額を差し引いた額が指定管理料となる。しかし、2年間免除されてきた消費税が今年度から課税されるのでこれも考慮しなければならぬ。水産庁の指針では、「事業実施者のみが過剰な利益を出すことはできない」とあり、あくまでも「漁業者の所得向上を目的とした施設」である。

今後は、引き続き「うみばた会」とも連携して毎月旬の魚介類を提供するイベントや地域連携による水産物の販売促進、漁業者の所得向上と管理料通減に努めていきたい。



4期目半ばまでの町長の実績について

〔町長〕評価は有権者である町民からしていただく

問① 初当選されて以来数々の施策を行って来られたと思う。長期にわたったの政権であり実績もあればまた、構想も持っておる事と考える。公約を挙げて町民に訴えて当選されて来たとして理解している。この間の実績というものをソフト面、ハード面も含めて自分なりに評価した場合、どの程度の割合に評価されるのか。なしえなかった事業また、断念しなければならぬ事業もあるのかと思う。自身を評価するという事は難しいと思うが、あえてお聞きしたい。

答① 町長

初めに大江議員からの色々なご支援に感謝したい。議員同席の街頭演説においてご案内の図書館や民俗資料収集館など複合施設を目指す、という話をした。これには都市計画マスタープランの見直しや立地適正化計画の策定が必要になることから、現在鋭意進めているところである。また、私の評価については有権者である町民からしていただくものと考えている。

答② 町長

時代も地理的狀況も変わってきたが、現在種差海岸階上岳インターチェンジ付近に企業誘致が進められている。町の産業構造をみながら誘致を進めていきたい。また総合運動公園は以前から、整備しても有効活用していくには財政的に大きな負担を生ずることが考えられることからこれを転換して既存施設の有効活用を図りたい、と述べてきた。

問② 一期目当選された当初、高速道路のインターチェンジを利用活用した工業団地を形成し企業を誘致したいということであったと思っている。また、運動公園もそろそろ議論しなければならぬ、と言っていたがどのようにお考えか伺いたい。



新型コロナウイルス感染症関連について

〔町長〕検査体制の整備を県に要望する
特別定額給付金の率は99.9%

○町としての今後の新型コロナウイルス対策の件

問① コロナ対策として、PCR検査をしたい人がやれるよう場所を設置することが重要だと言われているが、国や県などに要望して、地元で検査する場所を作るなど、町としての対策をどう考えているのか伺う。

答① 町長

独自の病院を持たない本町においては、検査場所は「三戸地方保健所」のほか、八戸市医師会が開設した「新型コロナウイルス検査センター」を加えて、検査体制の強化



寅谷 正 議員

を図っている。また、国は県に対して医療提供体制の確保として、発熱者が保健所を介することなく、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関等に相談・受診し、必要に応じて検査を受けられる体制を整備する、となっている。町としても、機会をとらえて、県に対してこれらの内容を早期に実現してくれるように要望していきたい。

○「特別定額給付金」(10万円)の未申請者

内訳の件

問①

この事業の未申請世帯は、東奥日報8月10日報道によると本町は39世帯で、三戸郡では最大であった。最終結果と未申請の原因の内訳と町としての今後の対策を伺う。

答① 町長

本町の最終的な給付実績は、給付した世帯数は、5966世帯で、給付率は99.8%。給付した人数は13304人で、99.

9%。未申請は14世帯15人で、未申請の理由を把握することは困難であると考えられる。また、町としての今後の対策は、事業完了となっており対応も終了。

町内小中学校のトイレの洋式化について

〔教育長〕財政と財源を見合わせながら検討したい

問①

町内小中学校において「洋式トイレを増やしてもらえないか」という切実な訴えがある。早急に町内小中学校の「トイレの洋式化」を実施してもらえないか。

答①

教育長

学校トイレの洋式化については、一部の学校からの要望はあるが、今後、財政と財源を見合わせながら検討してまいりたい。また、流水音の設置についても、今後同様に考えていきたい。

国民健康保険税における賦課方式の変更について

〔町長〕県の方針に合わせて見直しを検討

問①

現在、階上町の国保税の賦課方式は4方式(所得割・

資産割・均等割・平等割)であるが、市部には資産割がない所が多い。

また、支払い能力のない子どもにも大人同様の均等割税がかけられるのも子育て支援に逆行している。資産割や均等割の廃止或いは減免等の賦課方式を変更する考えはないか伺う。

答① 町長

現在、県では「県内保険料水準の統一」を目指しており、県の国保運営

方針が改定された場合、当町においても令和7年度までに資産割を除く3方式とする予定である。資産割や均等割の見直しは、所得割や平等割の税率へ影響を及ぼすため、被保険者間の負担の公平性を見極めながら、適切な賦課方式及び税率について、慎重に検討を進めたい。

行政区長の身分について

〔町長〕職務の性質上から判断した

問①

今年の4月1日より、区長の身分は、特別職非常勤職員から私人に変わったようである。手厚く保護する意味からも、区長を私人から特別職非常勤公務員に戻すべきではないか。

答① 町長

区長の業務は、特別職非常勤職員の要件に当てはまらないとの見解が国から示されたことにより、

一般職会計年度任用職員へ移行を検討したが、現在の区長の職務の性質上、適当ではないと判断し、これまでの区長としての活動等に制限が生じないように、また、損害保険等の保障を確保した上で、身分を私人としたものである。

今後、国や他自治体の動向を見ながら検討したいと考えている。

ハマの活性化対策について

〔町長〕 漁場の保全整備について時機を逃さず取り組み

問① ハマの活性化に向けた取り組みとして次のことを伺いたい。

- ①ここ数年のウニ、アワビの水揚げの推移。
- ②水揚げ量減を前提としてその対策は。
- ③漁業振興策についての町、漁協、他関係機関との連携は。
- ④アブラメブランド化の進捗状況は。

答① 町長

①ウニは震災前後を比較し大差ない量、金額となっている。しかし今年は昨年度に比較し量、金額ともに約半分となった。アワビについては平成26

年をピークに年々減少傾向にある。

②過去にはウニ、アワビの種苗放流に対する支援を行ってきた。これは「つくり育てる漁業」として本町漁業の根幹のひとつとなっている。今では各生産部会に継続され確実に成果を上げている。しかし今年にはウニの実入り不良が話題となった。原因はエサ不足が考えられる。対策として各部会では深淺移植や岸寄りのウニを鳥害から守り、成長を促すための移植等を行っている。ある生産部会では低コストでの海藻造林に取り組んでいる。こうした取り組みについては町としても積極的に支援していきたい。



森 吉 議員

③各生産部会や組合員の声が町に届きにくいという声も聞かれる。事業主体の漁協にリーダー



シップをとっていただくように積極的な働きかけをお願いしたい。町としても漁業の魅力発掘・発信事業と併せて漁場の保全・整備についても時機を逃さず取り組んでいきたい。

④今年、町や町内の漁業関係者、県立八戸水産高校などで組織するブランド化を推進する協議会「はしかみブランドプロジェクトCompAss」が設立された。消費拡大、流通促進、観光資源開発、資源確保の4本柱に沿った取り組みを展開中である。これからも関係機関との繋がりを密にし、ブランド化を具体化していきたい。

問② 支援事業についてはPDCAサイクルを回す等の検証が必要ではないか。

また、アブラメのブランド化の到達点をどこに置くのか。

答② 総合政策課長

海藻増殖や深淺移植等については改善を繰り返しその効果を確認し続けなければならぬ。そのためPDCAサイクルを活用しながら取り組んでいきたい。

長期間を要すると思う。ブランド化の推進事業は5年計画である。目標についてはレストランメニューやテイクアウト商品を開発し魚食普及、認知度向上を図っていく。また加工品開発など6次産業化を通じて付加価値を高めハマの活性化に結び付けていきたい。

※PDCAサイクルとはPlan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返す手法。

町内2中学校の再編問題について

〔教育長〕 令和6年度から総合的に検討する

問① 「第6次階上町行財政改革実施計画書」には令和6年度から「中学校再編」の検討となっている。具体的にどう進めようと考えているのか方向性を伺いたい。

答① 教育長

本年5月現在の町内中学の生徒数は階上中227人、道仏中51人である。令和8年度には階上中は年々減少し204人、道仏中は54人とほぼ横ばいで推移する見込みである。令和6年度から中学校再編の検討を予定している。「階上町の学校適正規模及び適正配置」の考え方を基本に教育条件や環境改善の充実を図り総合的に検討していきたい。

問② 学区外就学や私立中学校への入学等、生徒数減少に対する考え方は。

答② 教育課長

子どもの置かれている状況も多様化している。今後も町外に流出し生徒数の減少も予想される。総合的、柔軟に検討していきたい。



質疑あれこれ

第4回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

令和元年度決算の認定

下沢育男 議員

◆町税

問 元年度町税合計の不納欠損額と収入未済額の個人・法人別の件数は。

答 税務課長 不納欠損においては、町民税個人分の滞納繰越分53件、固定資産税法人63件、その他61件、軽自動車法人1件、その他27件である。また、収入未済の件数は、一般税の合計で法人21件、その他548件である。

◆あおもり産野生きのこ安全性実証事業費

問 依頼者数と稼働日数は。

答 総合政策課長 森林組合にお願いし、12名で15日間で採取している。

長根岩夫 議員

◆移住・定住新築住宅支援事業費

問 町内への移住者件数、人数は。また、子育て世帯、若年夫婦世帯と建物本体建築費等について確認したい。

答 建設課長 令和元年度は46件に交付し、町内移住の方は31件78人。子育て世帯が23件で若年夫婦が26件、双方対象が18件である。建築工事費は累計で46件で9億3900万円である。町内業者は11件で建築工事費は1億7700万円。

◆学校図書(備品購入費)

問 来年度浜手3小学校統合時の学校図書の処理についての考えは。

答 教育課長 令和元年度と本年度に購入した新

大下 修 議員

◆狂犬病予防注射委託料

問 予防注射の接種率は88・9%で、40頭は接種されていないが、理由と今後の対応は。

答 町民生活課長 理由として、老犬や病気などで衰弱している場合があり、今後とも接種率を高めるよう努めていく。

◆八戸圏域水道企業団負担金

問 企業債343万1千円と、児童手当負担金36万3千円の詳細は。

答 町民生活課長 企業団は昭和62年に設立され、平成元年度までの補助対象事業費の町負担分を起債で補うもので、企業団規約により構成市町村で負担している。水源開発の負担金は平成元年度世

しい図書については道仏小学校へ移管、それ以外は、学校や地域の方々とも十分協議し対応したい。

増ダム建設工事等の事業費、広域対策に係る負担金は、配水管や送水管の布設工事費となっている。償還は令和元年度で終了。児童手当負担金は企業団職員に係るもので、地方特例交付金として交付され、構成市町村が負担する。

大江和夫 議員

◆東日本大震災復興基金積立金

問 基金の目的・使途・積立・期間は。

答 総合政策課長 東日本大震災復興を推進する事業に充てる基金で、農林水産業や観光業など5つの事業を対象とし、ハートフルプラザ・はしかみの太陽光パネル設置や庁舎耐震補強改修事業等に向け、令和元年度までに約1億9830万円を充当。積立は利息分で、今後も復興の推進事業に活用する。

◆公共用地取得基金

問 基金の詳細と使途は。

答 総合政策課長 公共施設の用地を円滑に取得するための基金で、金山沢水郷館、ハマの駅であるいづば等の用地取得のため、令和元年度までに約4098万円を充て、事業を実施。基金の運用期間の制限はなく、公共施設の用地取得に活用する。

荒谷憲輝 議員

◆火葬料補助金

問 申請件数が74件と少なく思うが、理由と支給要件・内容と手続きは。

答 町民生活課長 昨年度84件、前年度81件で多いか少ないかの説明は難しい。支給要件は、階上町民が死亡した場合等、火葬の許可を受けた申請者に火葬料の半額を補助する。火葬の日から30日以内に関係書類、火葬料の領収書と補助金交付申請書を提出する流れ。

◆葬祭費

問 支給件数が28件と少なく思うが、理由と支給要件・内容、手続きは。

答 健康福祉課長 件数はここ数年30件前後である。国民健康保険の被保険者に対する支給で、後期高齢者医療の葬祭費は受付のみを行い、支給は広域連合で行っている。手続きは葬祭終了後に領収書を提出し申請する。

階上町庁舎空調設備改修工事請負契約の締結について

寅谷 正 議員

◆庁舎空調設備改修工事

問 1億7160万円盛っていたが、3千万円弱減額になっている。これはそのほかの部分は3千万円でやるとか、或いは単なる入札結果で安くなったのか。

答 総務課長 今回の工事は入札執行後の落札金額での契約金額で、事業費全体の額ではない。

10月27・28日の2日間にわたり、教育民生常任委員と教育委員による学校視察が行われました。

1日目は、石鉢小学校→階上小学校→赤保内小学校→階上中学校を訪問

2日目は、道仏小学校→小舟渡小学校→大蛇小学校→道仏中学校を訪問。

各学校を一巡し、授業の様子や校内環境を視察。また、学校運営方針や学校施設の状況などの説明を受けました。

【1日目 10月27日(火)】(児童・生徒数は、5月1日現在。複=複式学級、特=特別支援学級)

【児童数】214人(前年より6人減)
10学級(うち特4) 教職員等23人

【教育目標】夢や希望に向かってチャレンジ

【努力目標】

- (1)自分で考え学び合おう
- (2)みんなとなかよくしよう
- (3)健康な体をつくろう

【めざす学校像】

- (1)学校経営が充実している学校
- (2)地域や保護者と連携がとれている学校
- (3)いじめ、体罰のない学校



石鉢
小学
校

5年生 家庭科の授業

階
上
小
学
校



5・6年生 国語の授業

【児童数】13人(前年より1人増)
5学級(うち複2、特2) 教職員等9人

【教育目標】夢に向かって 努力する子

- 【努力目標】
- (1)進んで学習する子
 - (2)思いやりのある子
 - (3)しょうぶな体をつくる子

【めざす学校像】

<誰にでも認められ、愛される階上小学校として>

- (1)子どもを大切にする学校
- (2)地域から信頼される学校
- (3)毎日楽しく登校(勤務)できる学校
- (4)校内外が整美・整備された学校

【児童数】186人(前年より6人増)
9学級(うち特2) 教職員等20人

【教育目標】夢の実現に向かう子

【努力目標】

- (1)進んで学習しよう
- (2)なかまと協力しよう
- (3)健康な体をつくろう

【めざす学校像】

- (1)子どもが生き生きと活動する、笑顔いっぱいの楽しい学校
- (2)保護者、地域とともに歩み、信頼される学校
- (3)子どもが、居心地のいい、安心して学べる学校



赤
保
内
小
学
校

2年生 国語の授業

階
上
中
学
校



2年生 数学の授業

【生徒数】227人(前年より10人減)
11学級(うち特4) 教職員等29人

【教育目標】学びを追求し自己を高める人間
集団生活の向上に努める人間
健康で安全な生活ができる人間

【努力目標】

- (1)分からないところを知り、できるようになろう
- (2)人の立場に立って行動し、みんなが笑顔になろう
- (3)健全な生活習慣を身に付け、健康な心身を育もう

【めざす学校像】

- (1)安心して生活できる学校
- (2)明るい学校
- (3)自主・協同・責任を实践する学校
- (4)一人ひとりを大切にする学校
- (5)清潔な学校

町内学校視察

【2日目 10月28日(水)】

道仙小学校



4年生 算数の授業

【児童数】49人(前年より2人減)
7学級(うち複2、特3) 教職員等13人

【教育目標】夢と希望をもち、努力しチャレンジする子

- 【努力目標】
- (1)進んで学び表現する子
 - (2)考えて行動し助け合う子
 - (3)健康で体をきたえる子

【めざす学校像】

- (1)一人一人が大切にされ、笑顔があふれる学校
- (2)子どもたちが個性と力を発揮し、いきいきと活動する学校
- (3)地域とともに歩み、保護者や地域に信頼される学校
- (4)環境が整備され、気持ちよく安全に過ごすことができる学校

【児童数】24人(前年より1人増)
3学級(うち複3) 教職員等8人

【教育目標】思いやる子 学ぶ子 きたえる子

【努力目標】

- (1)認め合い 助け合う子
- (2)よく考え 自ら学習する子
- (3)健康でたくましい子

【めざす学校像】

元気で楽しい学校 (心のふるさと学校)



5年生 算数の授業

小舟渡小学校

大蛇小学校



1・2年生 英語の授業

【児童数】36人(前年より2人減)
3学級(うち複3) 教職員等9人

【教育目標】夢や希望をもち、なりたい自分にむかって挑戦する子

【努力目標】

- (1)自分の考えをもち、進んで学習しよう
- (2)よりよい自分をめざして、行動しよう
- (3)めあてをもって運動し、健康な体をつくろう

【めざす学校像】

みんなが生き生きと活躍できる、温かさあふれる学校

【生徒数】51人(前年より14人減)
5学級(うち特2) 教職員等13人

【教育目標】夢をつかもう
自ら学ぶ生徒 心豊かな生徒 粘り強い生徒

【努力目標】

- (1)目標をもち、進んで学習する生徒
- (2)思いやりの心をもち、自他の向上に努める生徒
- (3)心身を鍛え、最後まであきらめない生徒

【めざす学校像】

- (1)教育目標の具現化
- (2)教師集団の資質の向上
- (3)学校と家庭・地域社会との信頼関係の向上
- (4)命を大切にす学校体制の構築



3年生 社会の授業

道仙中学校

議会活動

8月

18日 町民生委員推薦会
19日 町国保運営協議会
26日 総務財政常任委員会
27日 新人議員研修会

9月

1日 議会運営委員会
2日 郡議長会役員会
8日 第4回定例会本会議
8日 議員全員協議会
9日 第4回定例会本会議
9日 教育民生常任委員会
11日 第4回定例会本会議
15日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
24日 秋の全国交通安全運動に係る町街頭広報活動

10月

1日 町表彰審議会
2日 議会だより編集委員会
2日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員定例会
12日 議会運営委員会
12日 第5回臨時会本会議
16日 議会だより編集委員会

17日 町制施行40周年記念式典
17日 町生涯学習元気まちフォーラム
22日 県議長会正副議長・事務局長研修会
22日 郡議長会臨時総会
27日 教育民生常任委員会
30日 学校視察（～28日）
議会だより編集委員会

第5回臨時会

令和2年第5回臨時会が、10月12日に招集され、審議の結果、全会一致で承認、可決しました。

■専決処分

▽階上町承認地域経済率引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

法律の一部改正に伴い、所要の改正をすることを専決処分したものについて、承認を求めるもの。

■補正予算

▽2年度階上町一般会計補正予算（第4号）

1500万円を増額補正し、予算総額を77億4

596万円としました。内容は、県から追加交付される新型コロナウイルス感染症対策地域経済対策事業費補助金を活用し、ふるさとトイレを整備するものです。

8月～10月分の議長交際費の支出はありませんでした。

平戸茂雄

元副議長逝去

元町議会副議長の平戸茂雄さん（83）が、10月5日、逝去されました。昭和62年4月から12年間議員として、また平成11年5月から、4年間第16代副議長として、町の発展にご尽力されました。ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

堰合庄一郎

元議員逝去

元村議会議員の堰合庄一郎さん（94）が、10月21日、逝去されました。昭和46年4月から4年間議員として、町の発展にご尽力されました。ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

議会だより編集委員会

◇今月号の編集委員（3人）

- ・松尾 國治 議員（総務財政）
- ・長根 岩夫 議員（産業建設）
- ・寅谷 正 議員（教育民生）



新人議員研修会

8月27日、青森市で開催された「新人議員研修会」に、議員2人が参加。

- 講師 新潟県立大学国際地域学部 国際地域学科准教授 田口 一博氏
- 演題 議員として活躍するために



編集後記

新型コロナウイルスのため、各種イベントや研修会等の中止も多く、私達の活動も制限されていますが、9月定例会は予定通り行われ、令和元年度決算等が審議されましたので、ご報告いたします。（松尾・長根・寅谷）

議会傍聴者数 （延べ人数）

- ・第4回定例会（令和2年9月）
9月8日（4人）
9月9日（11人）
9月11日（4人）
- ・第5回臨時会（令和2年10月）
10月12日（2人）

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。（新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただいております。）